

会員各位をはじめ全国の保健所職員の皆さまにおかれましては、今年に入ってからの新型コロナウイルス感染症の第6波、第7波に対し、それぞれの地域で感染拡大防止及び感染者の療養調整等にご尽力いただいておりますことに対し、心から敬意を表しますと共に感謝を申し上げます。

また、山梨県の岩佐敏会長には、お忙しい中、昨年度から本総会の準備をしていただきました。昨年、一昨年と2年連続で書面開催を余儀なくされ、今年は参集開催を模索しましたが、第7波の最中に開催方法を決定しなければならず、先行きが見通せない中、理事会にお諮りし今年度の総会議事は昨年度と同じく文書表決とし、会員間協議と研究発表はハイブリッドで実施することといたしました。どうかご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度の取り組みですが、短期的には新型コロナウイルス感染症の出口戦略を考え実行していく必要があり、また、中長期的にはこれまでも増しての保健所機能強化を図る必要があります。

健康危機管理に関する委員会では、新型コロナウイルス感染症に関する課題を整理し、国への要望や意見の提出を行うとともに、災害対策における応援・受援体制、感染症対策における地域連携、保健所の健康危機管理に関する体制強化などの検討と保健所長支援 MLの運営を行っていただいております。地域保健の充実強化に関する委員会では、地域における保健医療福祉に係るさまざまな検討の他、新型コロナウイルス感染症が続く状況下および再度のパンデミックに対応した保健所の業務体制、健康危機管理時に備えた人員確保も視野に入れた平時の保健所機能強化について検討をお願いしています。公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会では、事業班と連携してサマーセミナーの開催、相談会のオンライン開催など工夫を凝らした活動と、社会医学系専門医制度等について会員のみなさまに広く周知する ZENHO 通信の発行や更新単位（K 単位）の指定等を実施していただいております。

各担当理事会につきましては、理事の皆様はお忙しい中ですがメールやオンラインを活用して例年どおりの事業を行っていただいております。総務担当理事会では予算の管理、理事会・総会の運営などを、渉外担当理事会では国への要望活動の企画・実施などを、学術担当理事会では地域保健総合推進事業の募集・進捗管理、学会奨励賞の推薦などを、研修担当理事会では保健所連携推進会議や研修会の企画・運営などを、広報担当理事会ではホームページの管理やメールマガジン発行などを、それぞれ精力的に実施いただきました。

会員の皆様におかれましては、このような本会の活動に今後とも変わらぬご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症が終息し皆様と一堂に会しての意見交換が早期にできることを祈念して総会開催にあたってのご挨拶といたします。